

日本共産党 稲沢市議会報告

NO. 28
2014年 7月

日本共産党
稲沢市議会議員団
渡辺 幸保
曾我部博隆

支所移転は合併協定違反 耐震改修し、活用を

6月定例議会の一般質問が、11日から3日間行われ12人が発言、曾我部博隆、渡辺幸保両議員も質問しました。主な内容を紹介いたします。



曾我部博隆市議

市は昨年5月に祖父江、平和支所を保健センター祖父江支所、平和町農村環境改善センターに移転しようとしています。

曾我部議員は、合併時に稲沢・祖父江・平和で策定した『新市建設計画』、それに基づいてつくった総合計画や都市計画マスタープラン（都市マス）に違反すると批判しました。

解説…『新市建設計画』とは法定合併協議会が策定した合併後10年間の計画。

曾我部 都市マスは地域別構想で「市域形成の歴史

的経緯、地域の中心となる施設の存在」を考慮するとしている。「歴史的経緯、中心となる施設」は、合併前の祖父江・平和庁舎だ。

篠田智徳企画政策課長 新市建設計画は「現市役所・町役場を発展継承する」とあり、移転できないとはなっていない。

曾我部 保健センターや農村環境改善センターが祖父江、平和の中心となる施設でないことは明らかだ。3つの計画（新市建設計画・総合計画・都市マス）を読めば、現在の支所を移転できないことは明らかだ。

移転ありきでなく、改修・活用を

曾我部 （耐震基準を満たしていないのなら）長寿

命化改修をなぜ検討しないのか。

篠田企画政策課長 改修には数億円かかると見込んでいる。

曾我部 長寿命化を検討しないのは移転ありきだ。

保健センターでは 機能果たせない

祖父江の保健センターは、検診時に1階のロビーは人でいっぱい（写真下）。検診時の駐車場も満車（駐車能



検診風景（保健センター祖父江支所の1階）

力59台）で、支所の余裕はありません。農村環境改善センターは道路から1・8メートルも高く、施設にはエレベーターがありません。駐車場は15台分しかなく、支所機能を果たすことはできません。

交代側の部下に責務が果たせない。石黒秀治消防長 部下への指導等の時間は減少するが、各グループに主幹職2名を配置し、分署長の指導を仰ぎながら、指揮・監督はできる。

基本は5人乗務 （消防車）

渡辺 消防力の整備指針では、消防車の出動は5人が基本である。祖父江・平和分署の1勤務者は7人。救急車（3人）が出動すると4人しか残らない。

石黒消防長 祖父江・平和分署は、救急車が出動している場合、消防車1台（3人）の出動となり、本署からも出動する体制となる。

労働基準法違反か

渡辺 深夜に救急と消防が出動した場合、分署長が任務につかざるを得ない。しかし、分署長（管理職）には「深夜勤務手当」が支給されない。労働基準法に違反しないか。

岩田勝宏人事課長 分署長が夜間において勤務するという事態があれば、是正を図る必要がある。

命を軽視するな

平成30年に向け、職員を153人にまで減らす計画になっている。消防力の強化に力を注ぐことを強く求めました。

バーディプールの再開を

らくらくプラザ・バーディプールは療養や健康増進を目的に建設（築11年）された。天井部の腐食（鉄骨に穴）が見つかり、半年以上休止しており、早期の再開を求めました。

渡辺 利用券を何冊も購入している方も多く「いつ再開するか知らせて」「なぜ換金をしないのか」など、多くの苦情が寄せられている。

川口紀明福祉保健部長 ただちに使用に支障があるとは思えないが、安全上の問題があり、業者に修繕の方法、費用などの依頼をしている。

渡辺 再開の見通しは。川口福祉保健部長 検討したい。

早く修繕し、早期再開を強く求めました。

消防職員45人不足 消防力の強化で安心・安全を



渡辺幸保市議

国基準では、消防職員数208人に対し45人不足しており、消防車3人での出動が常

態化しています。消防力の強化を求めて質問しました。

署長も夜勤

渡辺 4月から稲沢東・祖父江・平和分署長を「交替勤務（24時間勤務、深夜時間は休み扱い）」にした。